

集落の活動状況に関するアンケート結果

アンケートの概要

対 象 あわら市内自治会（128 自治会）
方 法 送付は郵送、回答は郵送もしくはオンライン回答
時 期 令和4年8月15日～9月14日
回収率 93.0%（119 自治会）

令和4年11月

あわら市総務部総務課

目 次

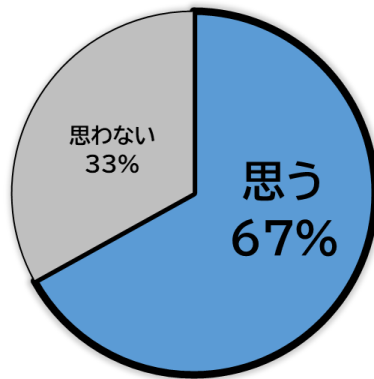
問 1	集落活動が活発であるか。……………	1
問 2	集落活動や集落運営上での課題は何か。……………	2
問 3	課題を解決するために工夫していることがあるか。……………	3
問 4	集落が活性化するために何が必要であると考えられるか。……………	4
問 5	「集落ときめき活動事業補助金」を活用したか。……………	5
問 6	補助金を活用したことで集落の活性化や課題解決が図られたか。……………	5
問 7	補助金を活用していない理由は何か。……………	6
問 8	令和 5 年度以降も集落の活性化を支援する補助金があれば活用したいか。……	7
問 9	新しく始めた（始めたい）取組みがあるか。……………	7
問 10	新しく始めた（始めたい）取組みにおいて、今後進めていくうえでの課題や 必要な支援があるか。……………	8
問 11	集落内の連絡手段についてデジタルツールを活用しているか。……………	9
問 12	どのようなデジタルツールを活用しているか。……………	9
問 13	どのような規模でデジタルツールを活用しているか。……………	10
問 14	どのような業務でデジタルツールを活用しているか。……………	10
問 15	区長について（年齢、職業、従事日数、選出方法）……………	11
問 16	区長の業務において負担だと感じる事何か。……………	13
問 17	区長の負担を軽減するために何が必要か。……………	14

集計上の留意事項

複数回答可としている質問や空欄で提出された回答があるため、回答数と一致しない場合があります。

集落活動について

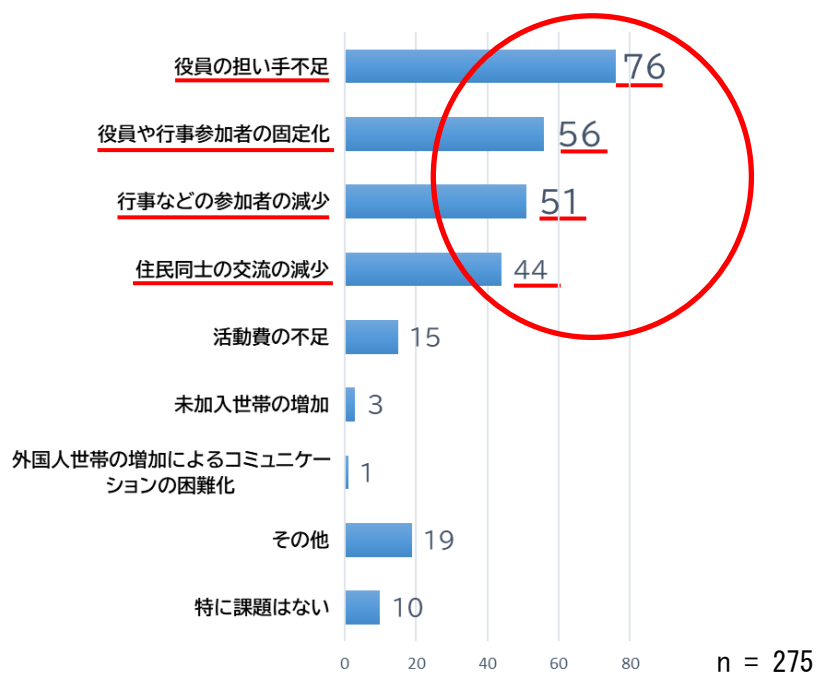
【問１】 貴集落では、集落活動（集会や祭り、共同作業など集落を運営するうえで必要な活動）が活発であると思いますか。



選択肢	回答数
思う	77
思わない	38
合計	115

【問2】 集落活動や集落運営上で課題となっていることをお答えください。
(3つまで)

- 76 自治会で「役員の担い手不足」が課題となっていることを挙げている。
■新型コロナウイルス感染症等により、集落の行事等が開催できず、住民同士の交流機会が減少している。



その他（主なもの）

- ・高齢化により役員の担い手が不足している。勤め人が輪番で区長や役員を回している状況で負担がとて大きい。このままでは、若手は面倒を嫌い田舎から出て行き、特に県外の大学を卒業しても帰って来ない。過疎化が進み区の存続が危惧される。
- ・人口の減少、高齢化により活動が困難になりつつある。
- ・リーダーとなる担い手の不足により住民同士の交流の場がない、作れない。
- ・コロナ禍のなか、区の行事（事業）は感染拡大防止のため縮小され、あまり交流ができない現状である。
- ・若年層の活動に対する無関心
- ・空き家・空き店舗、空き地の増加

【問3】 問2で回答した課題を解決するために工夫していることがあればご記入ください。

[自治会の運営]

- ・役員会の毎月開催など、役員（委員）会での話し合いの機会を多く持つ。
- ・区民とのふれあい、会話を重視しながら区長業務にあたっている。
- ・役員等の中でも若い人たちに声をかけ、仲間を集めるよう協力してもらっている。
- ・有志を募ること。小集団で活動を推進すること。
- ・青壮年団が仲良く団結し、区を牽引する。
- ・地区役員の負担を減らすため、地区の常会の回数を減らし文書で配布した。また、地区の昔ながらの春、秋の祭りは全戸参加であったが、コロナもあり自由参加とした。今後、コロナが終息しても自由参加を続けるつもりです。
- ・係・役員の集約化。壮年者役員による集落景観保持作業（集落周辺の山林裾野の草刈り（検討中））
- ・役員の総数を減らしたりしている。
- ・役員不足の問題で書記・会計の年齢を見直した。
- ・班長を順番に決めて手伝ってもらっている。
- ・役員の引き受け手がいないので、班で持ち回りとした。
- ・区長、会計、農家組合長等を終えた者に免除する年数を付して再任せず、平等に役員等が当たるように組んでいる。
- ・区長手当の増額

[担い手育成]

- ・若い人への働きかけ（スポーツ活動などを通して）。
- ・若者世代とのコミュニケーション。
- ・人口減少、高齢化に対する若年層への対応。

[自治会内の交流]

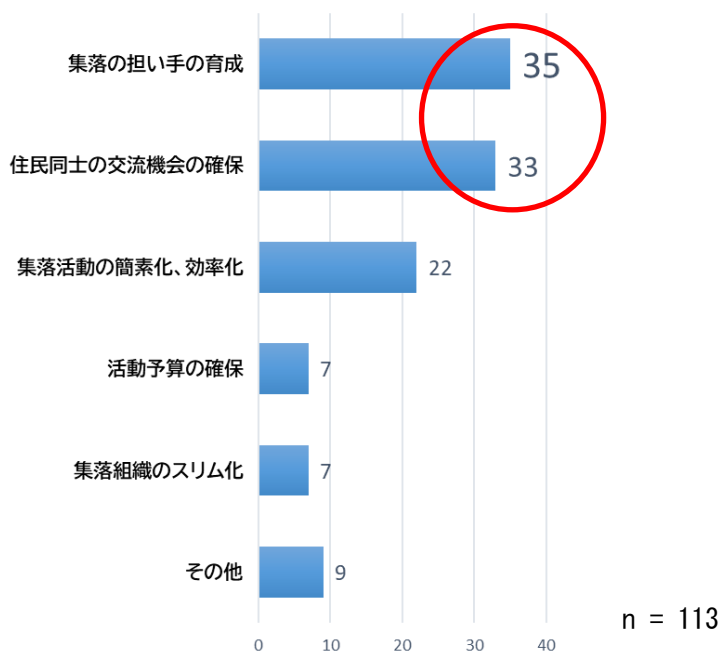
- ・夏祭りなど、住民参加型のイベントを開催。
- ・各種行事等の際は、区民の参加を促すため、努めて文書回覧等による区民への周知に配慮している。
- ・コロナ禍なので区全体が集まることを控え、団体（青壮年団、子ども会、婦人会など）の活動を中心をお願いしている。
- ・大学生（院生含む）に空き家を提供し、集落行事に参加、さらに耕作放棄地を再生し、米麦、蕎麦、野菜、果樹、養鶏などの自給販売を手がけ、集落の活性化を目指したい。

[他自治会との協力・連携]

- ・隣の区と合同で活動する。

【問4】 貴集落が活性化するためには、何が必要であると考えますか。最も必要であると考えられるものを1つ選んでください。

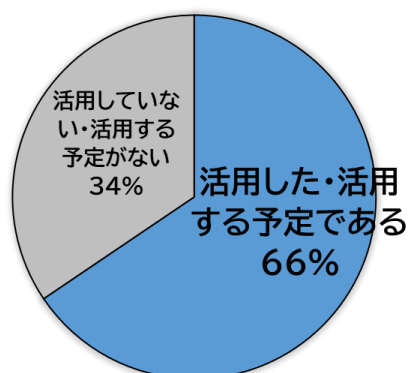
■集落を活性化するためには、「担い手育成」や「住民同士の交流機会の確保」が必要と回答した自治会が多い。



その他（主なもの）

- ・ 区民の意識向上（住みよい環境の醸成）
- ・ 集落自体の魅力の向上、外観の見栄えの向上
- ・ 集落間の交流、統一

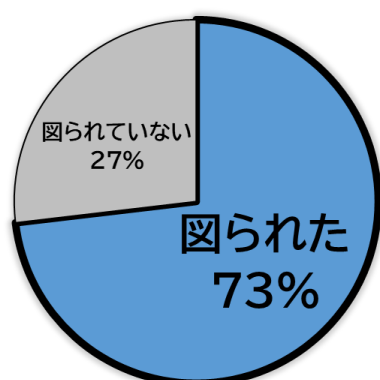
【問5】 貴集落では「集落ときめき活動事業補助金」を活用しましたか。



選択肢	回答数
活用した・活用する予定である	78
活用していない・活用する予定がない	41
合計	119

【問6】 問5で「1 活用した・活用する予定である」と回答された場合、補助金を活用したことで集落の活性化や課題解決が図られたと思いますか。

- 多くの自治会が、補助金を活用したことで集落の活性化や課題解決が図られたと回答している。
- 「図られていない」と回答した自治会では、新型コロナウイルス感染症等により、祭りなどの行事が制約され自粛していることから、まだ効果があったか分からないという自治会もある。



選択肢	回答数
図られた	49
図られていない	18
合計	67

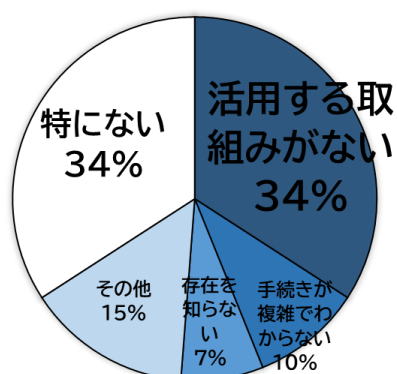
(図られたと思う主な具体例)

- ・区の役員の担い手不足の折、設備の充実、祭りの準備や運営にも役立っている。
- ・区民館の設備（エアコン）に充てて、集会等の参加者が増えた。
- ・区民館にエアコンを設置したことで、月1回の集会（区費徴収等）のとき集まりやすくなっている。（特に夏季）
- ・区内高齢者の（区外への）社会活動への参加が図られた。
- ・区に関係する団体も、使用の回数が多くなったようだ。

- ・公園のアスファルト舗装をしたことにより景観が良くなり、管理労力が軽減した。
 - ・区民が区に対する意識、活力につながったと思う。
 - ・高齢者の参加、活用が増えた（会議等）。
 - ・草刈り機を購入し、区内の環境整備に関して区民の意志改革が図られたと思う。
 - ・背負い式刈払い機や鉋、鎌の購入に補助金を活用した。春の奉仕作業や夏の社会奉仕作業、広場や貯水池の草刈り、樹木の刈払いなど効率化し、短時間で集落の景観保持や病虫害対策などに大きな効果が生まれ、ときめき集落づくりの活性化に役立った。
 - ・区の財産を守りながら後世へと継承していく意識付けになったと思われる。
 - ・祭りを通して、区民同士のふれあいの場ができた。
 - ・憩いの場所ができた。
 - ・財政的に豊かでない集落にとって、活動事業の補助金は痒い所に手が届く有効な施策でありがたい。
 - ・特に座椅子については喜ばれている。あったら良い＝必要性ある物を購入できれば便利や活用できるし喜ばれる。活性化は地域住民が参画して地域振興を行い、人との交流や人が集まる地域にすれば活性化を実感できる。
- (図られていないと思う主な具体例)
- ・各種行事のためのテント等購入の助成を受けたが、コロナ禍のため活用の機会が未だに無い。

【問7】 問5で「2 活用していない・活用する予定がない」と回答された場合、補助金を活用していない理由を1つ選んでください。

■新型コロナウイルス感染症等により、予定していた活動事業ができず、活用できなかった自治会もあった。



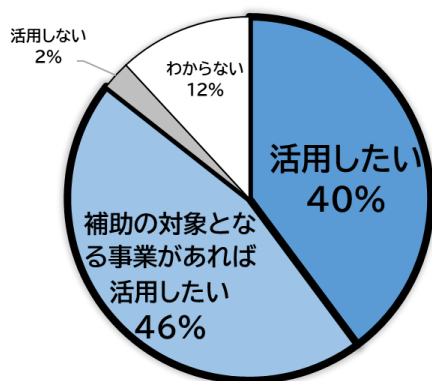
選択肢	回答数
活用する取組みがない	14
手続きが複雑でわからない	4
存在を知らない	3
その他	6
特にない	14
合計	41

その他（主なもの）

- ・高齢者が多く、コロナのため活動事業が少ない。
- ・修繕費、維持費に利用したかった。
- ・使い勝手が良くない。使いたい所に使えない。
- ・大型事業のために資金を貯めているため、他の事業に活動資金を使えない。
- ・負担金の費用がない。
- ・満額補助でないため、会計がややこしくなる。

【問 8】 令和 5 年度以降も同様の集落の活性化を支援する補助金があれば活用したいと思いますか。

■ 101 の自治会が、令和 5 年度以降も集落の活性化を支援する補助金を活用したいと回答している。



選択肢	回答数
活用したい	47
補助の対象となる事業があれば活用したい	54
活用しない	3
わからない	14
合計	118

【問 9】 人口減少が進む中、集落活動の活性化のため、貴集落で新しく始めた（始めたい）取組みがあればご記入ください。

[自治会内の交流]

- ・サロン、毎月第 3 火曜日に福祉委員が中心となり、ゲーム、音楽、映画、脳トレ、食その他いろんな企画に取り組んでいる。
- ・現在、集会場に区民が集まって憩いの場となるように映画上映会を実施した。
- ・世代間の交流会。子供会、壮年会、老人会の気軽な交流ができる機会を作る。自由に参加できるサロン風な場所がほしい。
- ・区民の交流の場を増やし、特に若者（担い手）との交流の場を設ける。
- ・地域防災での訓練などと合わせて集落の人たちのコミュニケーションを図る。
- ・キッチンカーに来てもらうことを考えている。
- ・そば会への資金援助
- ・子供食堂（老人も参加）を行いたいが、気軽に利用できる厨房がない。
- ・女性の参加が少ないので、女性のリーダーの育成と女性のための活動を少しずつ進めている。
- ・若者世代をどう取り込んでいくか。

[自治会の運営]

- ・昔ながらの煩わしい事を改善する。常会の回数削減、文書報告にした。祭りなど参加を強制しない。自由参加にした。

[他自治会との協力・連携]

- ・難しいと思うが、近隣の地区との合併が、最善かと思われる。

【問 10】 問9で回答された取組みにおいて、今後進めていくうえでの課題や必要な支援があればご記入ください。

[担い手育成]

- ・ 中心活動家の育成。活動年齢層（壮年代）の人数不足、仕事、高齢化などによる体力・気力の減退を要因とした無関心化。当地区の産業の問題
- ・ 若い世代とまず交流することが重要だが、生活に追われ、協力を得られず。
- ・ 後継者の確保。ボランティアで運営しているが、今後もその形で進められるか。マンパワーが不足しているので、地域外の人を借りる必要がある。地域おこし協力隊、事業の有料化による収入で人件費確保
- ・ 新しく参加される人の確保（男の人の参加）
- ・ 若者の移住

[自治会内の交流]

- ・ そば会のそばの打ち手の減少

[他自治会との協力・連携]

- ・ （他地区との共同でも）参加しやすい行事を。
- ・ 関係地区との話し合いのよる解決しか無いように思う。

[自治会の運営]

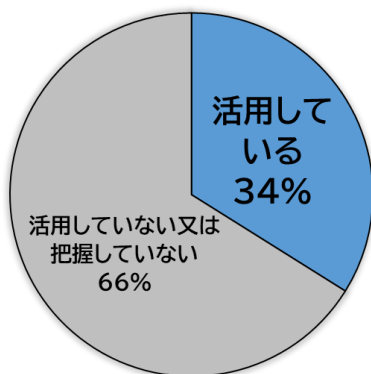
- ・ 区にあてられる役が多いので、忙しく時間が取れない。
- ・ 集落共通のソフトの開発

[市に対する要望]

- ・ 集落は家の跡継ぎが市外に出ていたり、結婚していなかったりなど、あと10年すると限界集落となり、集落活動が困難になると考えられる。対策を市で早急に考えてほしい。
- ・ 地区で一生暮らしていける（家の新築又はリフォーム）に対する市・県の補助金の制度（子育て世代への補助金）
- ・ 集落で自由に使える財源を与えるとよいと思う。あまり、縛りは設けない支援。ふるさと創生1億円のようなもの。
- ・ 巡回バス、区と街中に行けるバス。
- ・ 知名度向上のための諸活動に対する支援・配慮をお願いしたい。
- ・ あわら市の役や委員を減らしてほしい。

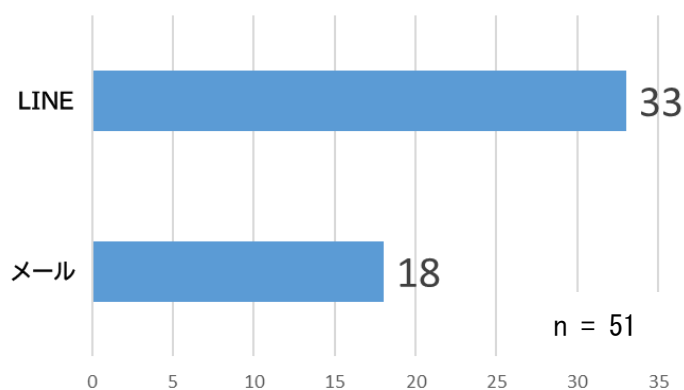
集落内の連絡手段について

【問 11】 貴集落では、集落内の連絡手段についてメールやLINEなどのデジタルツールを活用していますか。

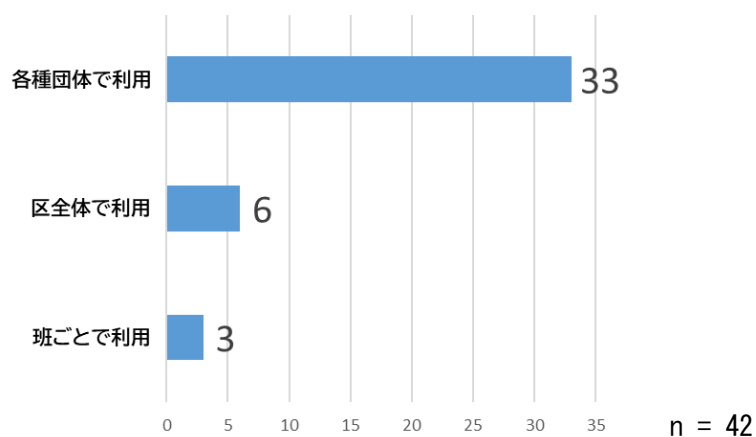


選択肢	回答数
活用している	40
活用していない又は把握していない	79
合計	119

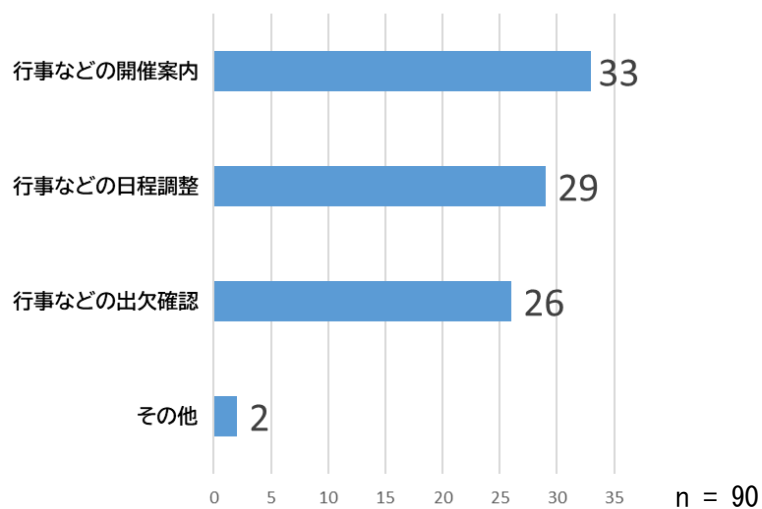
【問 12】 問 11 で「1 活用している」と回答された場合、どのようなツールを活用していますか。（複数回答可）



【問 13】 問 11 で「1 活用している」と回答された場合、どのような規模で活用していますか。（複数回答可）



【問 14】 問 11 で「1 活用している」と回答された場合、どのような業務で活用していますか。（複数回答可）



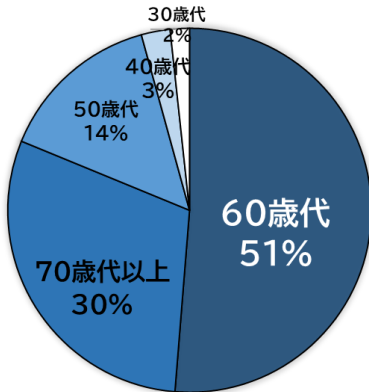
その他（主なもの）

- ・事業の検討
- ・簡単な役員決議

区長業務について

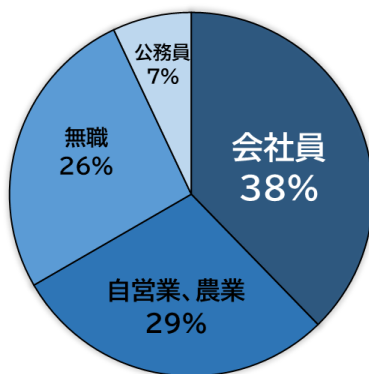
【問 15】 区長について

① 区長の年齢



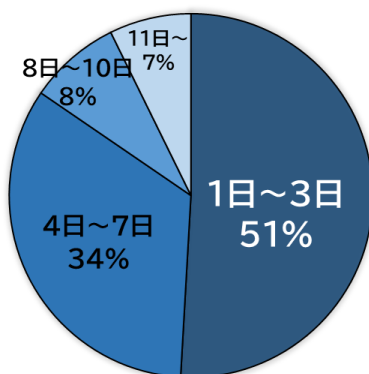
選択肢	回答数
60歳代	60
70歳代以上	35
50歳代	18
40歳代	3
30歳代	2
合計	118

② 区長の職業



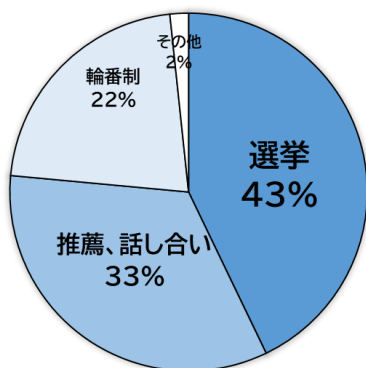
選択肢	回答数
会社員	43
自営業、農業	33
無職	30
公務員	8
合計	114

③ 集落活動に1ヶ月あたり何日程度、従事しますか。



選択肢	回答数
1日～3日	56
4日～7日	37
8日～10日	9
11日～	8
合計	110

④ 区長はどのような方法で選出していますか。



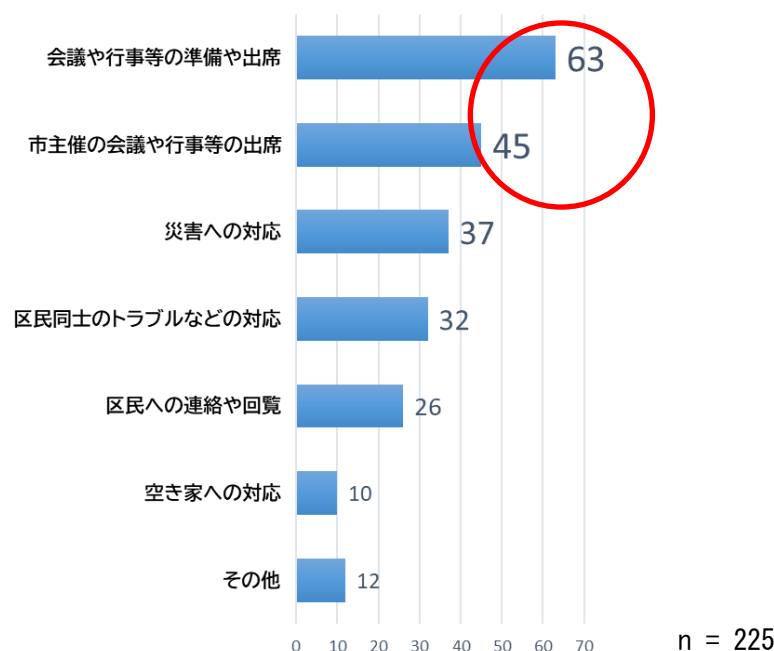
選択肢	回答数
選挙	51
推薦、話し合い	40
輪番制	26
その他	2
合計	119

その他（主なもの）

- ・ 定年 75 歳まで
- ・ 来年度から輪番制

**【問 16】 区長の業務において、負担だと感じることをお答えください。
(2つまで)**

■集落内の会議や行事等の準備、市主催の会議や行事等への出席が負担であると意見が多い。



その他（主なもの）

[自治会の運営]

- ・ 区長 1 人に集中して大変である。
- ・ 班編成（世帯数が減少し、班ごとの構成数が極端になり、班長ができない班が出ている。）
- ・ 年初に町内会の委員名簿作成を行わなければならない（総委員数十名）が、ほぼ区長単独で割振りをしなければならない。また、防災会の各担当者数十名の割振りもしなければならない。100%了解を得られるわけではなく、1 月の総会前は大変な負担となる。
- ・ 初めて務めているが、誰かが担うべき業務であり回って来ればやるべきであると思う。取りまとめ等に負担は付き物と思うしかないのではないかな。
- ・ 民間、官公庁を問わず、様々な事業に対する要望や交渉
- ・ 公園、区民館、神社、道路等の雑木、雑草、落ち葉などの除去及び処分。
- ・ 区で対応できない区民からの要望、苦情の対応。例：大雨時の排水対策、除雪、道路舗装の改良補修、不法投棄など。

[行政協力業務]

- ・ 募金事務：取扱金融機関が限定され、集金人（高齢者、車なし）が届けられない。
- ・ 各役員、委員の選出（民生委員、防犯隊員、福祉委員等）
- ・ 区長会等の行事（会社員のため）
- ・ 日中に市役所に行かなければいけないこと。

【問 17】 区長の負担を軽減するには何が必要かお答えください。(複数回答可)

■ 市から依頼される各種委員や市主催の会議などの見直しを求める自治会が多い。



その他（主なもの）

〔行政協力業務〕

- ・ 募金事務、班編成、市から依頼される各種委員等は非常に重荷となっている。国全体の急速な少子高齢化等で進行する社会の多様化、特に当区はその傾向が顕著であり、地区の主産業状況が集落内行事の見直し、各種委員等の選定の負担増に拍車をかけている。また、住民間のつながりの希薄化から、防災について、大きな災害がないのを祈る以外ないと感じている。
- ・ 無駄な会議が多い。サラリーマンは平日の日中の会議参加は無理。
- ・ 市及び社会福祉協議会等からの区民に関する早期の情報提供（死亡、施設入所等）

〔自治会の運営〕

- ・ 各種委員の選任について、当区は複数の区より 1 人を選任することが多いため。
- ・ 区民が少ないため、委員を掛け持ちしなければならないため、負担に思う。
- ・ ボランティア活動が多すぎる。
- ・ 区の会計、会議資料作成や議長などが負担。
- ・ 全てが区長に集中するため、各々班長が協力的に動いてくれると負担軽減となる。同じく老人会、青壮年団、役員の協力で軽減される。
- ・ 1 人が何役もこなしてる状況なので負担が大きい。
- ・ 区民からの前向きで積極的な意見、発言を頂きたい
- ・ 負担は軽減されない。軽減は役員の役割分担。区長となった以上はやれば負担増大。最低限のことをすればそれまで。